



む け 無 憂 華

浄土真宗本願寺派正念寺
常陸太田市久米町20-1
発行：正念寺護持会

電話：0294-76-2058
FAX：0294-76-0169

お盆が近づいて

最近、テレビを見る機会もあまりないものですから、なんとも言えないところですが、昔はお盆が近くなると「怪談話」が色々なチャンネルで放送されていました。有名な古典物では、番町皿屋敷・四谷怪談・牡丹灯籠などがありました。キワモノ的なものとして有名な物ですと、稲川淳二の超こわい話などもありました。

暑い夏の夜を怪談話で、少しでも涼しく(ぞっとする?)過ごそうという智恵だったのでしょうか。私が育つ頃は、エアコンなどは一般的で無く、うちわや扇風機で夏を過ごしていた思い出があります。もちろん、夏とは言っても今ほど暑くは無く、30℃前後になると、「今日は暑いね」という感じでした。今のように35℃を超えとか40℃になるという日は、ほとんど無かったように記憶しています。また、ゲリラ豪雨という報道がありますが、これも熱帯地方や亜熱帯地方などに現れる「スコール」と考えると、不思議としっくりくるような気がするの、私だけでしょうか。海の中でも、珊瑚礁が千葉県館山には現れていると言います。以前は珊瑚礁というと南方の島々や、国内だと沖縄というイメージでしたが、今ではかなり広がっているという報告があります。そういう報告を見ると、確実に温暖化が進んでいるという事でしょう。



さて、仏教に関する「怪談話」というと、やはり地獄に関する話になるのですが、落語に「じごくぼっけいもうじやのたわむれ地獄八景亡者戯」という話がありま

千葉県館山沖の珊瑚礁(たてやま・海辺の鑑定団HPより)

す。あらすじは、山伏・軽業師・歯抜師・医師の四人が、地獄行きとなりますが、四人ともそれぞれの得意技?を使って地獄で大暴れをして、鬼たちを困らせて、最後は地獄から追放されるという話です。まあ、怖いと言うよりも笑える話に仕上がっているのですが、この話から思うに、以前はもっと「地獄」という世界が、身近にあったので無かろうかと思うのです。嘘をつくと閻魔様に舌を抜かれると言われたり、悪い事をすると地獄に落ちるぞと脅かされたり、恐れる対象としての「地獄」があったが為に、その様な恐怖の世界を、四人がそれぞれの機転を利かせて切り抜けていく爽快さが、聞く者に笑いを運んだのではないのでしょうか。

今そういう恐怖の世界が、私たちには無くなってしまい、将来はどうでも良いから今だけを楽しく過ごせば良いという思いになっていないのでしょうか。閻魔大王や地獄という世界観が、私たちが悪い事をしようとする時の、一種の枷になっていたのでは無いかと考えると、私たち僧侶がそういう世界観の話を実際のじゃないからと、地獄の話 avoided してきた事にも問題があるのでは無いかとも考えます。今が良ければ良いという刹那的な生き方が生み出す世界は、もしかしたらこの世の地獄という世界なのかもしれません。刹那的な生き方が、温暖化を加速させ、生態系を破壊し、自らの住みにくい世界を生み出しているのかもしれない。もう一度、各々の生き方を見つめ直してみませんか。

お
釈しゃ
迦か
様さま
の
ご
生しょう
涯がい

(第10回)※仏教の教えを開かれたお釈迦様(仏陀)のご生涯を書いていきます。

お釈迦様の生涯 女性の出家(マハー・パジャーパティー)(その2)

しかし八敬法の中には、比丘尼(女性の出家者を指す)を比丘の下位におく規定があり後にマハー・パジャーパティーは、八敬法のうち比丘尼を比丘の下位に置くとする部分について、見直しをするように阿難に願いました。そこで阿難が、この願いを釈尊に伝えようと、釈尊は願いは聞き入れたものの、「正法が500年に減じた」と嘆いた、と伝えられております。

この様な部分を取り上げて、女性差別と捉える向きもありますが、こういった事は決して女性差別と言うことでは無く、異性を意識し、そのために戒が守られにくくなり、修行がおろそかになることを危惧したものと考えられます。

それは、この「八敬法」については、実際には釈尊が規定したものでは無く、後の時代に徐々に形つけられていったものとする研究者も多く、その研究者たちの言によれば、前例の無い女性出家者が誕生したために、男女の接触を避けるためにあくまでも若干の制限を、緊急避難的に釈尊が設けたとするものだ、ということです。そして、その制限を母胎として、釈尊が入滅された後の時代に、徐々に八敬法が形づけられていった、と言うわけです。

少々脇道にそれましたが、マハー・パジャーパティーの比丘尼僧伽さんの中での活動ははっきりしてはおりませんが、この比丘尼僧伽を運営して多くの弟子をもうけ、更に比丘尼僧伽の運営規則の制定にも重要な役割を果たしたものと考えられております。

八敬法一部抜粋

第一敬法

比丘尼は具足戒を受けて100歳になっても、具足戒を受けたばかりの比丘に対して敬礼し立って迎え合掌し恭敬すべし。

※これは、男女が座を同じくして座る事が、禁欲生活を送る出家者集団に具合が悪かったので男女を分けると言う目的があったと推測されます。

第二敬法

比丘尼は、比丘の居ない場所で雨季を過ごすべからず。

※無駄な殺生を防ぐために雨季には出歩かず、一か所に留まって集団で過ごし、これを夏(げ)安(あん)居(ご)というのですが、次の第三敬法に記すように、比丘尼は半月ごとに比丘僧伽に行かなければならなかった為、比丘と比丘尼が離れて住んでいると都合が悪かったと推測されます。

第六敬法

式叉摩那が2年間で六法戒を学べば、両僧伽において具足戒を請うべし。

※式叉摩那が2年間の修行で六法戒を修めたならば、具足戒を受けて比丘尼になれるとする条文。

第八敬法

今日より以降、比丘尼の比丘における言路は閉ざされ、比丘の比丘尼における言路は閉ざされず。

※これは、比丘尼は比丘の為に、犯罪を指摘したり、詰問したり、犯罪を指摘するべからず」と言うことと言われる。



お寺でライブ 一期一会落語会

来たる10月 4日(土)に、一期一会落語会が行われます。毎年好評な中で開催しておりますが、今年もきっと楽しい落語会になると思います。
今年も昨年と同様柳家平和師匠と柳家ひろ馬さんに来ていただきます。

記

日 時 令和7年10月4日(土)14時～
場 所 正念寺本堂にて
木戸銭 二千円



柳家ひろ馬さん



柳家平和師匠

実にこの世においては、怒みに報いるに怒みを以てしたならば、
 ついに怒みの息^やむことがない。怒みをすててこそ息^やむ。
 (法句経より)



これからの行事予定

- | | |
|--------------------|----------------|
| 9月 8日(月) 9時半～ | 聞法会 |
| 9月 23日(火) 11時～ | 久遠廟法要 |
| 10月 8日(水) 9時半～ | 聞法会 |
| 10月 28日(日) 9時～ | 清掃奉仕 |
| 11月 8日(土) 9時半～ | 聞法会 |
| 11月 11日(火) 13時半～ | 仏具磨き |
| 11月 18日(火)～19日(水) | 両日 13時半～ 報恩講法要 |
| 12月 8日(月) 9時半～ | 聞法会 |
| 12月 29日(月) 15時半～ | 炊上法要 |
| 12月 31日(水) 14時～17時 | 年忘れの鐘 |

ホームページのご案内

正念寺のホームページでは、今までの寺報やちょっとした仏教の話、寺の縁起などもあります。浄土真宗本願寺派正念寺で検索すると表示されます。

スマートフォンなどからは、下記QRコードを読み込んで下さい。

また、ホームページからYouTubeの正念寺チャンネルへも行けますので、今までの花祭りコンサート等を是非お楽しみ下さい。



聞法会員募集のお知らせ

二面に掲載中の【お釈迦様のご生涯】は、昨年までの聞法会で、勉強した内容になります。9月からは、お釈迦様の言葉に最も近いとされる「法句経」について勉強します。

また、普段の生活の中で不思議に思うことや疑問に思うことなどがあれば、いつでも質問していただければ、回答するようにしております。また、椅子と机を使って行っておりますので、足のしびれなどを気にせず、是非沢山の方のご参加をお待ちしております。

感謝録

父の永代経として

金 二十万円

大曾根 勇 様

※ 記載されていない方がありましたら、ご連絡ください。

清掃奉仕作業参加者 令和7年 2月25日(火)

常陸太田市

井坂 ヨシエ様

坂内 愛子 様

佐藤 のり子様

田口 卯貴 様

那珂市

箕川 清 様

匿名 様

仏具磨き奉仕参加者 令和7年 2月25日(火)

常陸太田市

猪口 治三 様

井坂 ヨシエ様

坂内 愛子 様

佐藤 のり子様

那珂市

小塚 一恵 様

橋本 貢 様

安 二郎 様

法要度に沢山の方にご協力をいただき、感謝に堪えません。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

※ 間違い等がありましたら、ご連絡ください。

住職雑感

今年も暑い毎日が続いています。どうぞ熱中症にはお気をつけて下さい。今年の夏が暑いのは、地球温暖化に加えて、ラニーニャ現象や偏西風の蛇行などが影響している為だと言われています。最近では、北海道でも30℃を超える日が毎年のようにあります。35℃を超える日まであるようです。

それを考えると、北海道より南の私たちの所が暑いのは仕方ないのかもしれませんが。まあそうは言っても、暑いのは暑いですが。しかし、暑い暑いと言っても涼しくはならないのですが……

今、ホームセンターに行くと暑さ対策の道具が色々あります。あるいは、扇風機つき作業着も人気です。この扇風機つき作業着は海外にも人気のようです。お盆のお参りに行くと、いつも法衣にもこういうのがあったら良いなあ、と思うのです。

暑い日が続くと、身体は次第に暑さに慣れて、暑さに強い身体になるようです。これを暑熱順化というそうです。これは、汗をかいて体温を調節する事で、熱中症になりにくい身体になるようです。とは言え、体力や体調の問題もあると思いますので、エアコンなどせっかく利用出来る電化製品があるのですから、そういった物を使いながら、お互いに健康に気をつけたいものです。